

授業科目	子どものうたと伴奏法 I				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21331J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP5-2			
担当教員	山路 麻佳、本多 一江、加藤 愛子(保育)、飯田 知津子、井原 花綸、山本 朝子							
授業概要	<p>授業はグループに分かれて個別レッスンの形態で行う。</p> <p>1年次の「子どものためのピアノⅠ」(前期)の単位を未修得の学生、および「子どものためのピアノⅡ」(後期)の単位を未修得の学生については、上記2科目において設定している課題曲までの履修を目指し演奏技術を高める。</p> <p>また、既に上記2科目の単位を修得済みの学生については、さらに柔軟に保育の現場でピアノ演奏技能を応用できるよう、コードネームを用いた伴奏アレンジなど個人の進度に合わせて実践的に学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	各自の進度や1年次のピアノ実技科目の履修および単位修得状況に合わせて個別に設定される課題曲を教材とし、さらにピアノを用いた歌の伴奏の技能を向上させることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				50		50	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
各自の進度に合わせ、1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高めるとともに、ピアノを用いた保育現場での音楽表現にふさわしい作品を選曲し、表現豊かな演奏をすることができる。				各自の進度に合わせ、1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高め、楽譜通りに適切なテンポで演奏することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション(全教員) 授業概要について説明する 各自の進度に合わせた個別レッスン 1			シラバスを用いてオリエンテーションを行う		講義の内容を復習する 昨年度「こどものためのピアノ」を受講して、ピアノの練習・		60

	幼児唱歌:「おはようのうた」「はをみがきましょう」		弾き歌いの練習方法について考える	
2	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 2(全教員) 幼児唱歌:「さようならのうた」「Happy Birthday to you」「ちょうちょう」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
3	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 3(全教員) 幼児唱歌:「おはながわらった」「うみ」「にじ」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
4	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 4(全教員) 幼児唱歌:「あめふりくまのこ」「まっかな秋」「雪」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
5	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 5(全教員) 幼児唱歌:「雪のペンキやさん」「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
6	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 6(全教員) 幼児唱歌:「やきいもグーチーパー」「むすんでひらいて」 自由曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
7	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 7(全教員) 幼児唱歌:「アイアイ」「こおろぎ」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題について予習・復習を行う。	90
8	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 8(全教員) 幼児唱歌「先生とおともだち」「とんでったバナナ」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
9	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 9(全教員) 幼児唱歌:「おもちゃのチャチャチャ」「七つの子」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
10	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 10(全教員) 幼児唱歌:「かわいいかくれんぼ」「ふしぎなポケット」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
11	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 11(全教員) 幼児唱歌:「おばけなんてないさ」「やぎさんゆうびん」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
12	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 12(全教員) 幼児唱歌:「犬のおまわりさん」「さよならぼくたちのほいくえん」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語に	90

			ついて不明なものは事前に調べておく。	
13	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 13(全教員) 幼児唱歌:「お星さま」「とけいのうた」 自由曲1曲(ブルグミュラー)	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
14	テーマ:各自の進度に合わせた個別レッスン 14(全教員) 演奏発表に向けて課題曲のリハーサル	各自の進度に合わせて個別レッスンを行う	自らの履修状況を踏まえ、担当教員から指定される課題曲の演奏について予習・復習を行う。楽譜上の記号・用語について不明なものは事前に調べておく。	90
15	テーマ:課題曲の演奏発表と授業のまとめ(全教員)	指定する課題曲の演奏発表と授業のまとめを行う	当科目の振り返りをもとに自らの課題を明らかにした上で、次の「こどものうたと伴奏法Ⅱ」の履修へ向けた準備を開始する	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	事前にテキストに目を通し、歌詞の内容や記号・用語の意味について理解しておくこと。また、「子どものためのピアノⅠ」および「子どものためのピアノⅡ」で習得したことを踏まえて、弾き歌いの演奏技能や実際に保育現場で活用できるピアノ伴奏の技術を身につけていけるように各自で練習を始めておくこと。			
テキスト	朝日出版社『新・幼児の音楽教育』 キリスト教保育連盟『幼児さんびか』			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『大学ピアノ教本』教育芸術社 その他「マーチ」等のプリント(楽譜)を各自の進度に合わせて適宜配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1年次と同様に毎日の練習の積み重ねが非常に大切です。次回授業までに90分以上の予習・復習の練習に取り組みましょう。 また、当科目ではピアノの演奏技能に加えて、「歌う」ことの要素が入ってきますので、歌いながらピアノ演奏も安定させることができるように、しっかりと実践を繰り返して下さい。また歌詞で用いられている一つ一つの言葉の意味や季節感などもよく感じ取って、より表情豊かな演奏表現ができるように心がけて下さい。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	発表の内容等については授業内において伝達します。 「その他」の評価については、日頃の課題へ取り組む姿勢(練習)や授業時の態度について評価します。